

看護研究バックナンバー(内容紹介)

Vol.44
No.2



焦点 | 看護学におけるケアリングの現在

- 看護学におけるケアリングの現在 筒井真優美
- ケアリングの研究動向 山内朋子, 筒井真優美
- Watson によるヒューマン・ケアリング理論の発展と意義 江本リナ
- ケアリングの測定用具 宮脇美保子
- ケアリングをいかにして教育するか 安酸史子
- 特別記事

看護学生のヒューマン・ケアリングの意味と価値を深めるためのポートフォリオの活用

戸村道子, 迫田綾子, 鈴木香苗, 松本由恵, 植田喜久子, 松原みゆき, 笹本美佐

●原著論文

ペリネイタルロスを経験したカップルについての質的研究 山崎あけみ

●連載

看護研究の基礎—意義ある研究のためのヒント・2

Research Question の設定と精練 坂下玲子

Vol.44
No.1



焦点 | 現象学的研究における「方法」を問う

- 現象学的看護研究とその方法 榊原哲也
- 開かれた現象学的研究方法 松葉祥一
- 理解について 家高 洋
- 患者を1人の人として理解する 石田絵美子
- 看護ケアの実践知 西村ユミ
- 「痛み」の理解はいかに実践されるか 西村ユミ, 前田泰樹
- 潜在的な視線触発と純粋な超越論的テレパシー 村上靖彦
- 特別記事
- ソーシャルメディアがつなぐ／変える研究と健康 中山和弘
- 連載
- 看護研究の基礎—意義ある研究のためのヒント・1(新連載)
- 看護研究とそうでないもの 坂下玲子

Vol.43
No.7



焦点 | 新たな創造に向けた看護研究 先端的試みをどう活かすか

- 先端研究を看護実践に活用する 川口孝泰
- 先端研究を応用したバイタルサイン測定法の開発
看護情報学の確立に向けた取り組み 川口孝泰・白鳥和人
- 知覚を客観的に評価する 看護実践のエビデンスを確立するために 佐伯由香
- 臨床応用に向けた遠隔看護(テレナーシング)の実際と意義 東 ますみ
- ICT(information and communications technology)を活用した健康支援プログラムの開発
人工股関節全置換術を受ける患者の環境移行に着目して 佐藤政枝
- 特別記事
- タイムスタディ研究の進展 タイムスタディによる看護業務の観測と構造化
清水佐知子・大野ゆう子・岩佐真也・富澤理恵・尾島裕子・林 剣煌・坂田奈津美・大西喜一郎

定価1,890円(本体1,800円+税5%) 雑誌 02411-06

消費税率変更の場合、上記定価は税率の差額分変更になります。



4910024110615
01800